

「当院での分離肺換気用デバイスについて（使用器具の詳細と合併症の有無）」に関する研究へのご協力をお願い

神奈川県立こども医療センター麻酔科では 肺腫瘍摘出術、先天性肺気道奇形・肺分画症などの嚢胞性肺疾患手術、膿胸手術、胸腔鏡下横隔膜ヘルニア根治術、縦郭腫瘍摘出術、心房中隔欠損閉鎖術を受けた患者さんを対象に分離肺換気用デバイスに関する研究を実施しています。この研究はこれから同様の手術を受けられる患者さんの麻酔管理に役に立つと考えております。

研究課題名	当院での分離肺換気用デバイスについて（使用器具の詳細と合併症の有無）
研究の対象	2013年1月から2022年12月に0～15歳で肺腫瘍摘出術、先天性肺気道奇形・肺分画症などの嚢胞性肺疾患手術、膿胸手術、胸腔鏡下横隔膜ヘルニア修復術、縦郭腫瘍摘出術、心房中隔欠損閉鎖術を分離肺換気で行った症例
研究の目的・方法 （試料・情報の利用目的及び利用方法）	小児における胸腔鏡下手術の増加、悪性腫瘍肺転移時の積極的な腫瘍摘出の増加に伴い、分離肺換気が必要となる小児症例が増えています。乳幼児・小児での分離肺換気用デバイスはあるとしても限られており、また繊細な手技を必要とします。当院での10年間の症例について、分離肺換気用デバイスの使用状況を報告する予定です。
研究期間	2023年10月5日～2024年10月
研究に使用する試料・情報の項目	手術実施時の年齢、身長、体重、手術術式、使用器具、サイズ、分離肺換気時間、気管支ブロッカーの場合の左右、合併症（気管損傷、バルーン破損など）の有無など
試料・情報の取得方法	麻酔記録から取得
共同研究機関と研究責任者 試料・情報の提供先の機関 （名称と機関の長の名称）	本研究はこども医療センターのみで実施され、試料・情報の他機関への提供はありません。
本研究の情報の管理について責任を有する者・所属	蜂屋 好子・麻酔科

本研究はヘルシンキ宣言（2013年10月WMAフォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2021年6月30日施行2022年3月10日一部改正）、個人情報の保護に関する法律等に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用し、個人情報外部に漏れることがないようにします。また、プライバシーにも十分に配慮して行います。

研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、本研究の結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。又は、開示すべき利益相反はありません。

本研究の対象となる患者さんご自身やご家族でお子さんの情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。この研究においてはあなた又はあなたのお子さんの情報は使用しませんし、既に情報を抽出しているときは削除します。その場合も診療において不利益を被ることはございません。

尚、公表後は情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口はこども医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先 研究責任者 地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
麻酔科 蜂屋 好子

相談窓口 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
総務課 倫理委員会事務局

Tel : 045-711-2351 内線 2212

けんきゅう きょうりょく ねが 研究への協力をお願い



かながわけんりつ いりょう ますいか ぶんりはいかんきょう しょうきぐ
神奈川県立こども医療センター麻酔科では分離肺換気用デバイスについて（使用器具

しょうさい がっぺいしょう うむ けんきゅう けんきゅう がっかいどう ほうこく
の詳細と合併症の有無）の研究を行っています。この研究は学会等で報告するこ

おな びょうき かんじゃ ちりょう やく た かんが
とで同じ病気の患者さんの治療等に役に立つと考えています。

1 テーマ

とういん ぶんりはいかんきょう しょうきぐ しょうさい がっぺいしょう うむ
当院での分離肺換気用デバイスについて（使用器具の詳細と合併症の有無）

2 この研究で皆さんにお願いしたいこと

ねん ねん さい はいしゅようてきしゅつじゅつ せんてんせいはいきどうきけい
2013年から2022年に0～15歳で肺腫瘍摘出術、先天性肺気道奇形・

はいぶんかくしょう のうほうせいはいしっかんしゅつじゅつ のうきょうしゅつじゅつ きょうくうきょうしたおうかくまく
肺分画症などの嚢胞性肺疾患手術、膿胸手術、胸腔鏡下横隔膜ヘルニア

しゅうふくじゅつ じゅうかくしゅようてきしゅつじゅつ しんぼうちゅうかくけっそんへいさしゅつ しゅつじゅつ ひと
修復術、縦郭腫瘍摘出術、心房中隔欠損閉鎖術の手術をしている人の

にゅういんちゅう きろく さんこう
入院中のカルテの記録を参考にさせていただきます。

3 研究期間

ねん がつ にち ねん がつ
2023年10月5日 ～ 2024年10月



4 研究をする人（責任者の名前）

ますいか はちやよしこ
麻酔科 蜂屋好子

けんきゅう けんきゅう かん き まち みな こじんじょうほう
この研究は、研究に関するいろいろな決まりを守って行います。皆さんの個人情報や

まち けんきゅう けっか はっぴょう とき だれ
プライバシーを守り、研究の結果を発表することがありますが、その時も誰のことかわか

はっぴょう
らないように発表します。

じぶん けんきゅう つか おち せんせい いえ ひと つた
自分のことは研究に使わないでほしいと思うときは、先生や家の人に伝えてください。

とき けんきゅう つか つか い びょういん しんさつ
その時は研究に使うことはありません。使わないでほしいと言っても、病院での診察や

ちりょう かんごし いりょう たいおう か ねが
治療、看護師など医療スタッフの対応は変わりません。よろしくお願ひします。



れんらくさき けんきゅうせきにんしゃ ますいか はちやよしこ
連絡先 研究責任者 麻酔科 蜂屋好子

でんわ：045-711-2351